

合格体験記 西 良騎 (20代 男性)

(はじめに)

2018年度の2次試験に不合格になった後にMMCの通年コースに申込み、1年間の受講を経て、2019年度2次試験に合格できました。以下では合格体験記として受講の体験をもとに、MMCを選んだ理由や受講前後の解答作成力の変化、学習方法などについて述べていきます。中小企業診断士受験生の予備校選びの一助になれば幸いです。

(受験歴)

1年目：2018年度試験に向けて大手予備校に通学

1次試験合格

2次試験不合格 (評価はACBBでB判定)

2年目：2019年度試験に向けてMMCに通学 (通年コース)

1次試験未受験

2次試験合格

(MMCを選んだ理由)

いくつかの予備校を比較したうえでMMCに決めた理由は以下のとおりです。

① 2次試験における合格率が高いこと。

合格率は予備校を決めるうえで最も重要なポイントの一つだと考えていました。合格率は年度によってばらつきがあるものの、4割を超える年度もあると聞き受講を決めました。実際に1年間の通学を終えて同じ教室で学習していた受講生が多数合格したと聞きました。

② 解答に納得感があり一貫性のある指導が受けられると感じた。

学習開始初年度は、様々な情報を取得して自分のなかで消化しきれず混乱してしまい、また市販テキストを使った独学にも不安を感じていました。

講座説明会に参加し、MMCが作った直近数年分の本試験の模範解答を見て、解答作成に一貫性があるように感じたため受講を決めました。

③ 受講生が少数かつ個別採点があるため講師に質問しやすいと感じた。

学習を進めていると様々な疑問が出てきます。それらを講師に聞いて解消したいと考えており、講師との距離の近さも重視していました。講座では事例演習の個別採点、フィ

ードバックの時間が確保されているため、質問しやすい環境だと考えました。実際にこのフィードバックで疑問を解消し、解答の癖や抜け漏れがある切り口を指摘してもらうことで解答作成力高めることができました。

(MMC受講前→受講後の変化)

2018年度試験が不合格後、MMCを受講する前の解答作成力と1年間受講した後の解答作成力など状況の比較です。

- ① 受講前) 事例文を読んでも解答に何を書けばいいか見当もつかないことがあった。

↓

受講後) 事例文を反復して解くことにより、業種と設問を見て解答の候補や探すべき事例文を推測できるようになりました。

- ② 受講前) 事例文のヒントが分かり辛く解答が難しい問題に直面した場合は、とりあえず事例文を抜き出していた。

↓

受講後) 事例ごとの頻出の切り口とキーワードが事例演習で繰り返し出題されるため理解することができました。試験中においても事例文と設問を読めば、それらを連想できるようになり対応力が向上しました。

- ③ 受講前) 解答を書いても字数の不足で空欄ができてしまう。もしくは、ただ埋めるだけで読みづらい文章を書いていた。

↓

受講後) 解答の型を習得することにより、設問を読んだ段階で大まかな文章構成を考え付くようになり、空欄を作ることはなくなりました。また、採点者の立場で考え「読みやすい解答」を心掛けること、読みやすい解答とは何かを講座を通じて学びました。

(学習方法)

1年間の実際の学習方法などを紹介します。

- ① MMCの教材以外に手を出さない。

受験中は学習の方向性や学習漏れが不安で、学習の範囲や教材を広げたい気持ちがあると思います。しかし、受講を申し込んだからにはMMCのメソッドを隅々まで頭に染み込ませることが重要だと考えていました。市販の教材は多く所有していましたがすべて封印。

先生方が過去の本試験問題の分析を踏まえて指導して下さるので信頼できたということもあり、これによって1年間効率的に学習を進めることができました。

② 集中して講座を受ける。(講座は一番前の席で受講する。)

MMCの講座では前列付近に座っていると様々な質問が飛んできますので、集中していなければ答えることが出来ません。(集中していても答えられない無茶振りもたまに飛んできます。)

受講中に何度も当てられては的はずれな回答をしてしまい歯痒い思いもしました。

しかしながら、後になって思えば学習したことのポイントを、自分の言葉で相手に伝える練習になっており合格出来た要因の一つであると感じました。

もしMMCでの受講を考えている方がいれば、前方で受講することをお勧めします。

③ 財務・会計は同じ問題を反復する。

診断士の学習を始めた当初は事例Ⅳの財務・会計に苦手意識を持っていました。簡単な計算問題でミスしてしまったときに徳川先生に学習の方法を教わり、「複数種類の問題に手を付けるのではなく、まずは一つの良質な問題を繰り返し解くこと」を指導していただきました。そこから、財務会計の学習はオプション講座の問題集のみに絞り、文字通り冊子が擦り切れて外れるまで反復しました。この結果本試験の事例Ⅳではほとんどの問題で正解することができました。

(おわりに)

1年間の通学を終えて、毎週の事例演習で得点が低いときもあれば、模試の順位が落ちることもありました。決してセンスの良い受講生ではなかったと思いますが、それでも根気強くご指導くださった先生方のおかげでここまで学習を継続できたと思っております。試験合格はあくまでスタートラインだと思っているので、今後は中小企業診断士資格を活かし企業の役に立てるよう精進してまいります。

最後になりますが、徳川先生、中居先生をはじめMMCの先生方には、1年間ご指導を賜り合格に導いて下さったことへの感謝の気持ちでいっぱいです。また、今回の診断士試験への挑戦を支えてくださった方々に感謝を申し上げます。ありがとうございました。